

第3期
国立市中小企業等振興会議

～最終報告～

平成29年8月

～目次～

1. はじめに . . . 02

2. 中小企業等振興会議からの報告

- (1) 「住民による四季を通じた美しい街づくりの機運を醸成する」 . . . 04
- (2) 「来街者が安心して市内を回遊し買い物が出来る環境の整備」 . . . 06
- (3) 「回遊性の高い国立としての自転車のあり方の検討」 . . . 08
- (4) 「個店同士をつなぐ仕組みづくりの検討」 . . . 10
- (5) 「参加型イベントによる商工業の活性化」 . . . 12
- (6) 「市内学校・専門学校・社会教育施設等との
交流や連携を通じた商工業振興」 . . . 14
- (7) 「観光ホームページを充実させる」 . . . 16
- (8) 「Wi-Fiの環境整備をする」 . . . 18
- (9) 「国立の良さや魅力を磨き拡充する」 . . . 20
- (10) 「市内の商工業者情報を観光的視点から発信」 . . . 22

3. おわりに . . . 24

【参考資料】 中小企業等振興会議活動記録 . . . 25

1. はじめに

平成 26 年 12 月に国立市観光懇談会が提出した「国立市の観光に関する提言書」に示された 41 のアクションプランの中には、市内の中小企業者（商店街・農業者も含みます）が取り組むことによりまちの活性化や賑わいが創造され、最終的に中小企業の振興に資する内容が多く含まれています。

第 3 期 国立市中小企業等振興会議では、この内容をもとに市内中小企業等の活性化につながる施策や、実現化に向けた課題や実施時期・主体などを検討して、市長に対して具体的な提案をするため、平成 27 年 7 月 3 日の第 1 回会合以降議論を進めてきました。

第 1 回会合から第 9 回会合までに議論を重ねた結果を「第 3 期 国立市中小企業等振興会議（最終報告）」として、市長に報告します。

この報告を提出するにあたり第 3 期 国立市中小企業等振興会議では、議論を重ねている間に既に計画・実施中の施策や検証段階に入っている施策も含めて、それぞれの施策ごとに Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の 4 段階を繰り返すことで、継続的に施策が改善されていくことを願っています。

2. 中小企業等振興会議からの報告

観光懇談会の提言した 41 のアクションプランの中から、市内中小企業等の活性化につながるきっかけとなるものを抽出・加工して、次の 10 の提案にまとめました。

次ページ以降を、ご参照ください。



(1)「住民による四季を通した美しい街づくりの機運を醸成する」

提案

この提案は、国立市観光懇談会の提言書に書かれたものではありませんが、その趣旨を汲んだうえで、国立市全域での長期的な取り組みとして「四季を通して花で美しい街づくり運動を展開」しイメージ形成や広く市民の協力を求める活動を行うことで、短期的に商業者の利益となる活動ではありませんが、最終的には来街者の増加により商業の振興を目指すものです。

そのために、市内商業者が積極的に活動するように促すことを提案します。特に大学通りの緑地帯等の植栽整備を更に進めていくことが必要ですが、環境の保全（植栽整備）とイベント等での使用など相反する意見や要望の調整の必要性を認識したうえで、「住民による四季を通した美しい街づくりの機運を醸成するため全市的な提携」を提案するものです。

具体的な提案

- ① まちの振興課から、国立市の関係部署（環境担当の主管課や景観関係の主管課等）、国立市商工会などの商工団体へ趣旨を周知し協力を要請する。
- ② 環境政策課と「くにたち花と緑のまちづくり協議会」が現在進めている活動が、より一層発展するよう要請する。
- ③ 大学通りの緑地帯について、保全と利活用の調整や検討をする横断的な議論が必要であることから、このことについて国立市が積極的に関与することを提案する。
- ④ 国立市内で季節毎の統一した花を決定し、市内全域での植栽活動などへの協力を呼びかける。

短期的施策

- ・ 住宅及び店舗、公共施設等の軒先、ベランダ等に春夏秋冬を通じて花いっぱい運動を展開する。
- ・ 四季を通して季節を感じる花の植栽を整備する。

長期的施策

- ・ 東京のポストンのような美しい街を目指す、100年先まで美しい街を目指す施策の展開
- ・ 市民の植栽参加区画を公募するなどして協力の確保等

施策の具体的な事業イメージ、ビジネスアイデア

- ・ 大学通りの車道と自転車道の境をなすプランターを市民に貸し出す。マイプランターとして花や低木の花木を植えてもらうことによる市民参加型景観づくり
- ・ 住民主導による、通年を通して花で美しい街づくり運動を展開
- ・ 花市の開催（春の花市・秋の花市を市内生花店・植木商・農家と開催）
- ・ 新たな種苗等のビジネスの増進
- ・ 春は桜とスミレ（桜の見頃は1週間で終了）、夏はアジサイ、朝顔、向日葵、秋はコスモス、冬はシクラメンや住宅でのイルミネーション等
- ・ 国立市のイメージをしっかりと示した花・花木の選定が必要。市民の意見（投票）など市民参加型を図る。
- ・ 「大学通り」だけでなく「さくら通り」「矢川通り」も含め、市の施設・郵便局も含めた公共施設も景観をよくするために「花」を飾る、植える。市民・商店街や企業にも呼びかけて、通りに面して花を飾る。（植える）

具体例、先行事例

- ・ くにたち桜守
- ・ 大学通りハンギングバスケットコンテスト（大学通り商店会）

具体的な事業展開に向けた課題

- ・ 市の他の施策との連携により推進は可能。ただし、花を植えたり置いたりした後に、どのように中小企業の振興に役立てるかという具体的な提案が必要。
- ・ 大学通りの植栽の整備は、秋の市民まつり・天下市など緑地部分での開催が困難になる可能性もあるため、実行委員会の意見聴取が必要である。また、大学通りの植栽は、周辺住民はもとより市民の非常に関心が高い関心事であり、植栽計画を持つ環境政策課と十分な協議を要する。

(2) 「来街者が安心して市内を回遊し買い物が出来る環境の整備」

提案

この提案は、観光懇談会のアクションプランでは「バリアフリーやユニバーサルデザインの推進・公共のトイレ環境の向上」とされていたものを市内商業の振興に資する内容に修正し、「歩道の水たまりの解消・バリアフリー化を推進して誰でも通れるように改修を進める」というものと、来街者が安心して街を楽しめるという観点からトイレが大変重要であるという認識のもと、「くにたち市民トイレ制度のより一層の充実を図ると共に、公共トイレのネーミングライツの活用や民間のトイレのさらなる活用等も含め整備に関する検討を進める」ことを併せて「来街者が安心して市内を回遊し買い物が出来る環境の整備」として提案します。

また、来街者が安心して市内を回遊し買い物をしてもらうために、国立市商工会「商業便利度向上員会」の報告にある「ホスピタリティ」（「思いやり」や「おもてなし」の精神）を国立の魅力として打ち出していくことを提案します。

具体的な提案

- ① 国立市が、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する内容をまとめて、市内事業者へ周知する。（啓発活動の展開）
- ② 国立市が、来街者の回遊性を確保するため、市内のトイレ（公設・くにたち市民トイレ等）の設置管理状況の確認調査を行い、市内トイレの位置等がわかるマップ（バリアフリー情報を掲載）を作成する。
- ③ 調査結果を踏まえて、トイレの維持管理基準（いつでも・誰でも・どこのトイレでも同じように利用できる）等の検討や、くにたち市民トイレに準じた民間事業者のトイレの活用方法を検討する。
- ④ 維持管理費をネーミングライツや有料トイレなどの税金以外で賄うことも視野に入れた、外観・機能の優れたトイレの新設を検討する。
- ⑤ 市民トイレ情報を周知していく他、外観からわかるように市民トイレに共通のマークを作成する。
- ⑥ 国立市商工会の提案するホスピタリティに関する取組みを国立市・商工会・商店会・各個店で連携し推進していく。

短期的施策

- ・ 市民トイレに共通するマークの作成
- ・ 市内のトイレ、バリアフリー状況の調査

長期的施策

- ・ 道路管理者（都、市、公的機関）の協力と活用
- ・ トイレの維持管理基準の検討
- ・ 外観・機能の優れたトイレの新設

施策の具体的な事業イメージ、ビジネスアイデア

- ・ 公設トイレのネーミングライツによる管理。
- ・ 歩道の水たまりの解消、バリアフリー化の推進
- ・ 犬の糞の持ち帰りの啓蒙
- ・ トイレの新設（市民トイレの増設も含む）
- ・ 市民トイレ共通のマークの作成

具体例、先行事例

- ・ 町田市 堺市（ユニバーサルデザイン）
- ・ 横浜市（トイレのネーミングライツ）

具体的な事業展開に向けた課題

- ・ 市内の施設によってトイレの所管が異なるため、庁内で統一した方針を検討することが必要。また、トイレについては既に整備されており既存の改修等には多額の費用も予想される。

(3)「回遊性の高い国立としての自転車のあり方の検討」

提案

この提案は、観光懇談会のアクションプランでは「自転車置き場を増やす」とされていましたが、コンパクトな国立市の立地条件から、来街者はもとより市民を含めた自転車の積極的な利用を促進することで、北地域から南部地域までの高い回遊性を確保し、来街者の増加による市内全域での消費喚起を促すため、回遊性の高い国立としての自転車のあり方の検討を提案するものです。

具体的な提案

国立市自転車対策審議会での議論の際に、一橋大学のシェアサイクリングや観光のツールとしての自転車の活用、近隣自治体やJRとの連携も念頭においていただくよう要望する。

短期的施策

- ・ 市内状況の把握のための調査
- ・ 他自治体等の模範的施策の研究

長期的施策

- ・ H27.3 策定の国立駅自転車駐車場整備計画等に基づき検討

施策の具体的な事業イメージ、ビジネスアイデア

- ・ 市内、特に南部地域にシェアサイクルのスポットを設置し、南北間での自転車移動の利便性を向上させる
- ・ シェアサイクル利用者が市内商店で割引やサービスを受けられるなどの特典を検討する
- ・ レンタサイクル等と回遊による時間消費型ビジネスの向上

具体例、先行事例

- ・ 一橋大学内のシェア自転車
- ・ Suicle(スイクル)武蔵境・東小金井・東京農工大学科学博物館前
- ・ くにたち・まちづくり∞自転車倶楽部
- ・ 親子でリンリンツアーなど子供向けサイクリング教室を開催
- ・ 木材でサドルを掛けて駐輪する器具がある普及しているまち
- ・ 中央区や港区などのシェアサイクリング
- ・ 金沢のレンタサイクル

具体的な事業展開に向けた課題

- ・ 道路交通課が所管部署となり、平成 28 年度より、国立市自転車対策審議会を設置し、自転車ネットワーク計画の策定や自転車の活用（コミュニティサイクルの導入等）について検討しているので、中小企業等振興会議の提言も検討してもらう。

(4)「個店同士をつなぐ仕組みづくりの検討」

提案

この提案は、観光懇談会のアクションプランでは「個人店同士の結びつきを強化する」とされていましたが、表現が抽象的であったことから中小企業等振興会議では一步踏み込んで、市内商店の有志が頻繁に集まってイベントの相談をしている事例を参考に、中小企業や商店会等の組織同士の付き合いだけではなく個店同士のつながりも促進して、常にどこかでイベントが行われている街となる取組みを推進するよう行政や商工会等に提案します。

具体的な提案

- ① 「くにたちゆる市」、「くにたちビアガーデン」などの事例を参考に、個々の店の経営支援を図るとともに、協力できる店舗・個人のネットワーク化・結びつきの場を設定することを検討する。
- ② 商店会でなければ助成を受けられない現行の制度について、有志の集まりでも助成を受けられるように国や都などへ現行の補助制度の見直しの働きかけを行う。
- ③ 国立市商工会が作成した「国立市商業振興計画商業まちづくり案」で提案されている「伝え、集め、広げる」といった賑わいづくりの情報受発信機能の具体化を図る。

短期的施策

- ・ 協力できる店舗・個人がいればネットワーク化・結びつきの場の設定
- ・ SNS 等インターネットサービスを利用した電子仮想空間上での結びつきの場の設定、情報の受発信

長期的施策

- ・ 商店会以外の有志の集まり等も対象とする補助制度の検討。
- ・ 同補助制度の新設を国、東京都等関係機関へ働きかける。

施策の具体的な事業イメージ、ビジネスアイデア

- ・ SNS を利用することで各個店のつながりを促進、そこで検討したイベント等の情報を効果的に発信できる。また、双方向の情報発信媒体であるから、商店利用者、イベント参加者の意見を直接実施主体の商店が得られる。
- ・ 商店会の枠を超えた有志の集まりに対しても商店会同様の補助制度を用意することで、イベントをより容易に行うことが出来るようになり、来街者、商店利用者の増加を期待できる。
- ・ 交流会の場所貸し。

具体例、先行事例

- ・ くにたちゆる市
- ・ 国立散歩（ミモザ散歩・朝顔散歩・ものしり散歩）
- ・ クリスマスイベント（タキシードでおもてなし企画）
- ・ くにたちビアガーデン

具体的な事業展開に向けた課題

- ・ SNS の利用に関しては、初期費用もほとんどかからず、既に有志で集まりイベントを行っている例は市内にも数多くあることから、実行・展開の可能性は高い。一方で、有志の集まりに対する補助制度は、市・都・国いずれも今後検討を重ねていく必要があり、またこれら各行政主体が協力して統一的な制度の設定をすることが制度の利便性を高めていくうえでも重要になっていくことから、実現までは時間が必要になると考えられる。

(5)「参加型イベントによる商工業の活性化」

提案

この提案は、観光懇談会のアクションプランでは「参加型イベントを充実する」とされていましたが、「商工業の活性化を目的として参加型イベントを活用する」と表現を改め、高齢者と若い人や子供が交流するイベントや、高齢者の増加を踏まえた高齢者向けのイベントを視野に入れながら検討することを提案します。

また、国立市役所の「ふくふく窓口」を参考に、商工業振興に関係したイベントの相談窓口機能の必要性についても検討することを提案します。

具体的な提案

国立市が、参加型イベント(教育・アート・音楽)のターゲットを把握し、事業者との連携を促進することや、各種媒体・ツールを活用したイベント情報の発信をする。

短期的施策

- ・ イベントの内容と実施団体との協議、場所の確保

長期的施策

- ・ イベントと事業者のマッチングの調整
- ・ 参加料、レンタル料の徴収、飲食・物販の提供などで採算性を検討

施策の具体的な事業イメージ、ビジネスアイデア

- ・ 近年参加型イベントの人気の向上していることや、既存のイベントの参加状況から需要は十分にあると考えられる。
- ・ イベントへ商店が関与することによって、商品やサービスを参加者へ提供する機会が生まれ、新たな顧客の開拓につながることを期待できる。
- ・ 高齢者の増加を鑑み、高齢者向けの参加型イベントを検討する。
- ・ 高齢者と若者が交流できるような参加型イベントを検討する。
- ・ 市にイベントのワンストップ窓口を設置する。

具体例、先行事例

- ・ 国立市青少年音楽フェスティバル
- ・ くにたちあぐりっポによる情報発信
- ・ 環境フェスタくにたち
- ・ まと火、リンク国立、わんぱく相撲、みらいく（模擬選挙）

具体的な事業展開に向けた課題

- ・ 参加型イベントの具体的なイベントの絞込みが必要

(6) 「市内学校・専門学校・社会教育施設等との

提案

交流や連携を通じた商工業振興」

この提案は、観光懇談会のアクションプランでは「市内学校・専門学校との連携イベントを充実する」とされていましたが、中小企業等の振興の観点から、商店会のイベントなどに市内の学校や専門学校の生徒に有償ボランティア等で活動してもらうなどの交流や連携を検討することを提言します。また、子育て世代の流入を図り街のにぎわいと顧客の確保を目指して、長期的視点での国立市の児童生徒の学力向上施策に取り組むことを提案します。

具体的な提案

- ① 国立市が、市内学校・専門学校・社会教育施設等とどのような連携（学園祭などの情報をまとめてホームページ等で紹介するなど）ができるか実態調査を行う。
- ② 調査結果を踏まえ、市内の学校と商業者がどのような連携（有償ボランティア等）ができるか検討し、双方に参加を呼びかける。
- ③ 市内の児童・生徒を対象に、国立市が学力向上のための講師を雇用し、無料で補習などを行う事業を実施する。

短期的施策

- ・ 市内学校、専門学校、社会教育施設、市内商店への実態調査

長期的施策

- ・ 教育機関との協議
- ・ 実施主体の決定
- ・ 会場等の確保

施策の具体的な事業イメージ、ビジネスアイデア

- ・ エコール辻市民講座
- ・ エコール辻（アトリエ辻）実習販売
- ・ 参加料、レンタル料の徴収、飲食・物販の提供などで採算性を検討

具体例、先行事例

- ・ くにたち富士見台人間環境キーステーション（KF）の活動
- ・ 矢川メルカード商店会のイベントへの東京女子体育大学の学生の参加
- ・ 運動の楽しさ伝え隊（東京女子体育大学）
- ・ 中学生職場体験、ティーチングアシスタント、都立国立高校生徒による学習ボランティア

具体的な事業展開に向けた課題

- ・ 専門学校との連携事例はあるが追加のイベントについてはマッチングが難しい面があるため、具体的なイベントの絞込みが必要

(7)「観光ホームページを充実させる」

提案

国立市のHPに観光のページが無く、委託している「くにたちNAVI」(旧称：くにたちインデックス)へのリンクがわかりづらいので改善することを提案します。

また、「くにたちNAVI」が平成28年5月にリニューアルされたことから、アクセス数の推移などにより充実度を検証することを提案します。

具体的な提案

- ① 国立市の観光担当主管課へ早急に対応するように要請する。
- ② 外国人旅行者へ対応できるよう、ホームページの多言語化を進めるよう提案する。

短期的施策

- ・ 観光まちづくり協会、商工会と協議

長期的施策

- ・ 充実度や課題を検証した結果をホームページへ反映させる

施策の具体的な事業イメージ、ビジネスアイデア

- ・ バナー広告
- ・ ネット販売
- ・ 外国人へ対応できるよう、ホームページの多言語化を進める。

具体例、先行事例

- ・ くにたちインデックス(国立市観光まちづくり協会)
- ・ 国立情報WEBマガジン くにたちハッピースポット
- ・ クニッター(国立新聞)
- ・ 国立人→「小さなまちのしごと探し」へリニューアル

具体的な事業展開に向けた課題

- ・ 現在、市が運営を委託している「くにたちNAVI」について、観光に特化したサイトへ内容を移行しつつある。ただし、サイトの改修や運営については委託料に限界がある。

(8) 「Wi-Fi の環境整備をする」

提案

災害時の情報収集手段としても有効であることから、国や都の補助金を活用してWi-Fi 整備を進めることを提案します。ただし、整備に当たっては利用者の視点に立ち、市内各施設の設置状況を十分比較検討をし、来街者の利便性向上を目的として、利用者が快適に使用できる環境整備を進めること提案します。

具体的な提案

- ① 国立市が、他市の公衆無線 LAN の設置状況や運用状況などを調査し、より効果的で利便性の高い設置計画を策定する。
- ② 国や都の補助金の情報収集に努め、市の関係部署が連携して環境整備に当たる。

短期的施策

- ・ 通信会社、商工会、商店会と協議
- ・ 他市の設置状況の調査・アクセス数の推移等からホームページの充実度を検証する。

長期的施策

- ・ 整備費用や整備方針の検討、各種補助金の活用

施策の具体的な事業イメージ、ビジネスアイデア

- ・ 市内の Wi-Fi 環境の統一的整備(ログイン方法の統一など)
- ・ 集客力増による売り上げ増

具体例、先行事例

- ・ 他市の Wi-Fi 設置状況

具体的な事業展開に向けた課題

- 整備費用や整備方針を検討する場の設定から始めるため、方法の検討まで時間がかかるものと予測される。国の補助金（観光・防災Wi-Fiステーション整備事業等）の活用についても、補助率が1/2のため市の負担額が高額となることが課題である。

(9) 「国立の良さや魅力を磨き拡充する」

提案

観光懇談会のアクションプラン「国立ブランドを充実する」を議論の中で、「国立ブランドとは何か」、「国立市商工会のくにたちスタイルとの関係はどのようなものなのか」、「基本構想にある国立ブランドと、国立市商工会のくにたちスタイルで定義するくにたちらしさとの関係は」、といった疑問についてかなりの時間を割きましたが、最終的な結論には至りませんでした。そこで、合意できた部分を表現する言葉として「国立の良さや魅力を磨き拡充する」としました。

具体的には、国立市政世論調査報告書(別冊)による「国立らしさ」の調査で国立のイメージとして挙げられたものの中から、多数の方が挙げられたキーワードをもとに、その良さや魅力を拡充する方法と具体的施策案を提案します。

具体的な提案

- ① 観光交流施設となることが予定されている旧国立駅舎を情報発信の拠点とし、駅舎関連グッズの開発や市の魅力をPRするジャンル別のマップ等の製作を国立市観光まちづくり協会など関係機関へ働きかける。
- ② 対象にするターゲットごとに、様々な市内周遊ツアーを企画・開発し、商品化を目指すよう国立市観光まちづくり協会や商店会等へ働きかける。
- ③ 桜のライトアップやロケ地紹介など国立の良さや魅力を向上させる活動を支援する。

短期的施策

- ・ 美しい街づくりの食品、ファニチャー等の具体化を推進

長期的施策

- ・ 良さや魅力の新規開拓
- ・ 既存ブランド(くにたちスタイル等)の拡充、ブラッシュアップ

施策の具体的な事業イメージ、ビジネスアイデア

- ・ 駅舎関連グッズの商品化
- ・ 市内周遊ツアーの商品化(ロケ地めぐり、南部の自然環境の活用)
- ・ ターゲット毎のニーズに合わせた市内マップの作成
- ・ 販路開拓による売り上げ増
- ・ 駅舎グッズや周遊ツアーなどの商品化

具体例、先行事例

- ・ くにたちスタイル
- ・ くにたちスイーツ

具体的な事業展開に向けた課題

- ・ 商工会のくにたちスタイルを活用する場合、①コンセプト②独自性・主体性③信頼性④市場性⑤創造性の認定基準をもとに認定された商品及びサービスで、認定の申請資格が商工会の会員等であることなど制限もある。そのため、充実には商工会への働きかけが必要である。また、新たなブランドを創出する場合、既存のブランドとの競合など、制度設計や予算の確保など課題も考えられる。

(10) 「市内の商工業者情報を観光的視点から発信」

提案

この提案は、観光懇談会のアクションプランでは「各店の情報を取りまとめ、発信を強化する」とされていましたが、中小企業等の振興の観点から、「市内の商工業者情報を観光的視点から発信」へ修正し、市外に向けた観光冊子等の作成を促すことを提案します。

具体的な提案

- ① 市が委託しているくにたち NAVI や商工会の国立ショッピング情報などの情報発信媒体（電子媒体）への掲載・更新を促進する。
- ② 国立市が作成した観光冊子を効果的に活用して市外へ情報発信を行う。

短期的施策

- ・ 既存の組織団体の協力が前提
- ・ 情報収集能力の向上、市単独ではなく複数の団体の協力が必要

長期的施策

- ・ 観光ガイドマップの内容の修正、拡充
- ・ より効果的な情報発信方法の検討

施策の具体的な事業イメージ、ビジネスアイデア

- ・ 観光ガイドマップの有料化：不可能ではないが、無料である市区町村が大半である現状を踏まえると難しい。
- ・ 市内の商店を紹介した冊子の作成、市外への配布、ホームページ作成

具体例、先行事例

- ・ 江東区観光協会「江東スイーツプロジェクト小冊子『ga・te・ra(がてら)』」

具体的な事業展開に向けた課題

- ・ 行政が行うとどうしても公平性などの観点から内容が総花的なものになる恐れがある。また、全市的に網羅するには資金と人手が必要となってくる。

3. おわりに

第3期 国立市中小企業等振興会議では、国立市観光懇談会が提出した「国立市の観光に関する提言書」のアクションプランをもとに、約2年（9回）にわたり市内の中小企業振興策について議論してきました。会議では、街の魅力を向上させ多くの来街者を呼び込むことが市内の中小企業の活性化につながるという共通認識のもと、様々な意見が出されました。その中で、年間を通じて来街者を呼び込むには、市内の環境美化や整備を行政・住民・市内各種団体が連携して行う機運を醸成することが重要であるとの提案に至ったことはまちづくりの観点からも特に重要で、国立市観光懇談会が提案したテーマ「T O K Y O S A L O N 出会いを楽しむ街 くにたち」に通じるところがあります。また、それ以外の提案についても市内の中小企業振興策として検討いただきたい内容ばかりです。

その中でも、時間の都合上十分な議論が出来なかったため10の提案に含めなかったものの、中小企業振興を考える上では不可欠なテーマである「外国人観光客への対応」と「民泊」については、当会議でもその重要性が指摘されました。まだまだ外国人観光客の国立市への関心は高いとは言えませんが、今後オリンピック開催や市外へのPR活動により数の増加が見込まれます。また、一橋大学の留学生や、その家族などの国立市への関心は高いことから、外国人をターゲットにした観光を介する商業振興策の早期の検討が望まれます。

民泊に関しても、旅行者からの消費拡大にあたって「宿泊」は重要なファクターとなることや、国立市内に宿泊施設がない現状を踏まえ、今後民泊の議論は重要になってくると思われます。しかし、民泊による近隣住民等とのトラブルの発生も懸念されることから、庁内関係各課との調整を踏まえた上で議論を進めるべきと考えます。

来日外国人の増加や民泊の法整備が進む中、今後より重要性が増すであろうこれらテーマについても、この最終報告を機に国立市においても積極的な議論がなされることを望みます。

冒頭に記載したとおり今回の報告は、第1回会合から2年あまりの議論を重ね、現在までの議論の内容をまとめて報告するものでありますが、PDCAサイクルの中で今後も施策を常に見直し、更なる検証と内容の精査の中で改善されていくことを期待します。

中小企業等振興会議活動記録

会 議	日 時	内 容
第 1 回	平成 2 7 年 7 月 3 日 (金) 19 : 00 ~ 21 : 00 市役所第 4 会議室	<ul style="list-style-type: none"> (1) 委嘱状交付 (2) 市長あいさつ (3) 委員及び事務局の紹介 (4) 会長、副会長の選出 (5) 議題についての説明 (6) 今後の進め方
第 2 回	平成 2 7 年 1 0 月 2 3 日 (金) 19 : 00 ~ 21 : 00 市役所東臨時事務室	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第 1 回討議内容 (要旨) ・ 討議結果の確認 (2) 「観光懇談会提言書「観光体系図」をもとにしたアクションプランの分類」(事務局原案) の説明 (3) 「観光懇談会の提言を踏まえて観光体系図の整理」に係る意見・提案委員の説明 (4) 「観光懇談会の提言を踏まえて観光体系図の整理」に係る討議 (5) 次回の日程について
第 3 回	平成 2 8 年 1 月 2 6 日 (火) 19 : 00 ~ 21 : 00 市役所第 4 会議室	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第 2 回討議内容の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要旨についての追加・修正等 ・ 前回の会議での決定等 (2) 「第 2 回討議内容・事務局調査結果等を反映した会議資料 (事務局原案)」について検討 (3) その他
第 4 回	平成 2 8 年 4 月 6 日 (水) 19 : 00 ~ 21 : 00 市役所第 4 会議室	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第 3 回討議内容の確認 (2) 中小企業等振興会議の意見取りまとめ(中間)について (3) その他
第 5 回	平成 2 8 年 6 月 3 0 日 (木) 19 : 00 ~ 21 : 00 市役所第 4 会議室	<ul style="list-style-type: none"> (1) 第 4 回討議内容の確認 (2) 中間答申 (案) について (3) その他

<p>第6回</p>	<p>平成28年 9月21日(水) 19:00~21:00 市役所第4会議室</p>	<p>(1) 前回会議の内容確認 (2) 中小企業等振興会議(中間報告)の市長への提出報告 (3) 最終報告に向けた進め方について ①庁内の意見照会等の結果について ②最終報告の取りまとめ方法等について (4) その他</p>
<p>第7回</p>	<p>平成28年 11月30日(水) 19:00~21:00 市役所第4会議室</p>	<p>(1) 前回会議の内容確認 (2) 前回会議での今後の検討・確認事項 ①各提案の担当部署等の検討 ②提案(1)の「審美性」の取り扱いについて ③提案(9)の「国立ブランド」について (3) その他</p>
<p>第8回</p>	<p>平成29年 3月15日(水) 19:00~21:00 市役所第4会議室</p>	<p>(1) 前回会議の内容確認 (2) 最終報告(素案)について概要説明 (3) 前回会議で出た最終報告へ向けた検討・確認事項・提案(9)「国立の良さや魅力を磨き拡充する」についての検討 ①「自然環境(自然、緑、並木、桜、イチョウなど)」 ②「文教都市・文教地区、教育、学園都市(一橋大学、谷保天満宮など含む)」 ③「閑静な住宅街、景観・環境が良い、治安が良い、住みやすい」 ④その他各委員の考える「国立の良さや魅力」とその具体策 (4) 最終報告の作成について (5) その他</p>
<p>第9回</p>	<p>平成29年 5月24日(水) 19:30~20:30 市役所第4会議室</p>	<p>(1) 前回会議の内容確認 (2) 最終報告の内容確認 (3) 今後のスケジュールについて (4) その他</p>

~MEMO~

●第3期国立市中小企業等振興会議 最終報告●

平成29年8月

国立市生活環境部まちの振興課

〒186-8501

東京都国立市富士見台2-47-1

電話番号 042-576-2111